

# 我が国周辺水産資源調査・評価等推進事業のうち漁場形成・漁況予測事業

## 定置網漁獲統計調査

笹木大地・久野正博・岡田 誠

### 目的

定置網に関する詳細な漁海況情報を蓄積することにより、資源管理を行っていくための基礎資料とする。

### 方法

三重県内の大型定置網漁場のうち、波切・片田・和具・阿曾・贅浦・方座・錦・長島・島勝・九鬼1号・九鬼2号・早田・梶賀・磯崎・木本・阿田和1号・阿田和2号の17漁場を対象に平成30(2018)定置年度(平成30(2018)年10月～令和元(2019)年9月)の魚種別漁獲量を調査した。

### 結果

詳細については平成30定置年度三重県ブリ定置漁獲統計で報告したので、以下は結果の概略を示す。

平成30(2018)定置年度の総漁獲量は4,751トンで前年度の81.2%、過去10年平均の77.2%であった。魚種別ではブリ(6kg以上の銘柄)が1,309トンで全魚種の27.6%を占めた。次いでサバ類585トン、マアジ470トン、シイラ466トン、ワラサ(2～6kg以上の銘柄)281トンの漁獲があり、上位5種で全体の約6割を占めた。

漁獲量10トン以上の魚種の中で前年度と比較して漁獲が増加したのは、シイラ(前年度比17.6倍)、ツバス(同11.1倍)、タチウオ(同6.4倍)、ヘダイ(同3.0倍)、ヒラソウダ(同1.8倍)、サバフグ類(同1.5倍)、カンパチ(同1.4倍)、イナダ(同1.4倍)、サワラ(同1.4倍)、アオリイカ(同1.4倍)、メジナ(同1.3倍)、マダイ(同1.3倍)、マルソウダ(同1.3倍)、マアジ(同1.3倍)、ムツ(同1.1倍)、ヤマトカマス(同1.1倍)等であった。

逆に減少した魚種は、ワラサ(2～6kgの銘柄)(前年度比30%)、スルメイカ(同52%)、トビウオ類(同53%)、ブリ(6kg以上の銘柄)(同56%)、コショウダイ(同68%)、アカカマス(同71%)、サバ類(同79%)、カツオ(同85%)等であった。

ブリ(6kg以上)の全漁獲尾数は、172,808尾(前年度比51.1%)で、漁獲が増えた直近10年で7番目であり、過去50年では8番目に多い漁獲尾数であった。ブリのまとまった入網は3月下旬から4月下旬に集中してみられ、4月だけで全体の66%、3月～4月では全体の88%が漁

表1. 全漁場魚種別漁獲量

平成30(2018)年10月～令和元(2019)年9月			
順位	魚種名	漁獲量(kg)	相対度数(%)
1	ブリ	1,309,474	27.562
2	サバ類	584,948	12.312
3	マアジ	469,889	9.890
4	シイラ	465,737	9.803
5	ワラサ	281,373	5.922
6	ツバス	134,144	2.824
7	カタクチイワシ	132,498	2.789
8	マイワシ	115,860	2.433
9	イナダ	108,754	2.439
10	マルソウダ	76,020	2.289
11	イサキ	75,530	1.600
12	マダイ	67,376	1.590
13	ムツ	63,720	1.418
14	サワラ	62,270	1.341
15	イワシ類	61,142	1.311
16	カンパチ	58,956	1.287
17	ヒラソウダ	49,217	1.241
18	タチウオ	45,625	1.036
19	イシダイ	44,363	0.960
20	スルメイカ	42,902	0.934
21	マグロ類	40,505	0.903
22	ウルメイワシ	40,264	0.853
23	サバフグ類	30,550	0.847
24	ヤマトカマス	29,797	0.643
25	メジナ	27,975	0.627
26	カツオ	26,642	0.589
27	その他アジ類	23,628	0.561
28	アオリイカ	19,787	0.497
29	ヘダイ	13,194	0.416
30	アカカマス	12,901	0.278
31	ヒラマサ	12,884	0.272
32	ヒラメ	10,791	0.271
33	トビウオ類	10,395	0.227
34	ケンサキイカ	10,233	0.219
35	コショウダイ	10,015	0.215
36	ボラ	9,255	0.211
37	ウスバハギ	8,694	0.195
38	チダイ	8,643	0.183
39	マルアジ	7,276	0.182
40	ハガツオ	7,087	0.153
41	スズキ	6,176	0.149
42	マトウダイ	5,388	0.130
43	カワハギ	3,854	0.113
44	クロダイ	3,529	0.081
45	カマス類	3,246	0.074
46	その他イカ類	1,094	0.068
47	ヒラスズキ	755	0.023
48	ウマヅラハギ	714	0.016
49	ヤリイカ	325	0.015
50	その他雑魚	115,576	0.007
合計		4,750,966	100.000

獲された。4月上旬から中旬が漁獲のピークで、全漁場合計の1日の最高漁獲尾数は、4月7日の21,888尾、次いで4月5日の16,468尾、4月8日の14,703尾、4月12日の10,446尾、4月4日の8,327尾、3月31日の7,616尾であった。前年に10日あった1万尾以上の漁獲は4日に減少した。

ワラサ(2~6kg未満)の全漁獲尾数は、68,101尾(前年度比38.2%)で、過去50年で32番目の漁獲尾数であった。ワラサの入網は4月下旬~5月上旬に集中し、4月だけで全体の42%、4月~5月では全体の65%が漁獲された。全漁場合計の1日の最高漁獲尾数は、4月17日の3,728尾であった。次いで4月18日の3,277尾、4月

12日の2,645尾、4月14日の2,479尾、4月28日の2,382尾であった。前年に5日あった1万尾以上の漁獲は1日もなく、低調な漁獲となった。

イナダ(0.5~2kg)の全漁獲尾数は、142,171尾(前年度比1.6倍)、当歳魚が主体となる8月~9月を入れない集計期間では32,808尾(前年度比51.3%)であった。8月~9月は当歳魚が多く漁獲され、年度の合計では過去50年で6番目の漁獲尾数であった。

#### 関連報文

三重県(2020)：平成30定置年度 三重県ブリ定置漁獲統計。